

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020501010100	事業の種類	1		
年度	25	事務事業名	国民健康保険給付事業	予算事業名	国民健康保険事業ほか	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	市民生活部市民課		
施策名(中)		社会保障制度の安定した運営を図る		担当課長	岩崎 徹博	担当者名	中本 光早子
取組み事項		国民健康保険の安定的な運営を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		国民健康保険法 国民健康保険条例 国民健康保険税条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	国民健康保険被保険者					
	誰(何)を対象として	国民健康保険被保険者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	国民健康保険被保険者に適切な医療給付を実施することにより健康維持・増進を図り、健康で健やかに生活できる					

2 事業の概要 Do

実施の概要		療養諸費、高額療養費、出産・葬祭費、その他の給付(結核・精神)等の給付事業				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	保険給付費(審査除)	円	2,722,533,261	2,789,605,244	2,702,819,895	3,085,692,000
	受診件数	件	126,361	126,350	126,039	108,000
	平均被保険者数	人	8,699	8,589	8,479	9,000

3 投入資源

		会計区分	国保特別会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	1.407	1.654	118	2.116	128	2.036	96	
	臨時職員	0.672	0.363	54	0.374	103	0.370	99	
支出内訳	人件費	13,000,833	13,954,721	107	17,495,956	125	17,610,295	101	
	事業費	3,663,912,913	3,731,463,016	102	3,724,749,497	100	3,928,554,647	105	
	合計	3,676,913,746	3,745,417,737	102	3,742,245,453	100	3,946,164,942	105	
財源内訳	国庫支出金	804,943,561	762,516,372	95	703,735,754	92	761,325,000	108	
	県支出金	156,684,793	189,964,825	121	188,740,226	99	194,563,000	103	
	市債			-		-		-	
	その他	1,062,261,616	937,330,754	88	889,191,860	95	820,614,000	92	
	一般財源	1,653,023,776	1,855,605,786	112	1,960,577,613	106	2,169,662,942	111	
合計	3,676,913,746	3,745,417,737	102	3,742,245,453	100	3,946,164,942	105		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		1人当り保険給付金額							
指標説明(式)		保険給付費(審査除)/平均被保険者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	312,154	317,522	101.7	339,269	106.8	342,855	101.1	
	実績	312,971	324,788	103.8	318,766	98.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

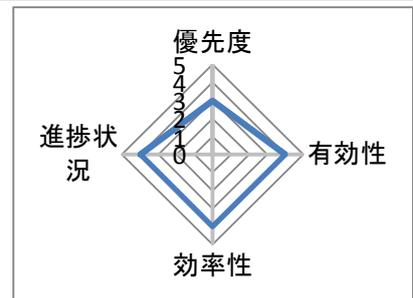
指標名1		保険給付費にかかる1件当りコスト							
指標説明(式)		(人件費+事業費-給付費)/件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	8,812	8,602	97.6	7,697	89.5	7,967	103.5	
	実績	7,553	7,565	100.2	8,247	109.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	適正な給付事業を行ったことにより、概ね目標を達成できた。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	関係法令等に基づいた適正な事務処理を行った。	
効率性	コストの節減	保険給付費にかかる1人当りのコストは減少した。	4
	執行体制の効率性	事業実施にあたり迅速、適正な事務処理体制を行っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	年々増加していた医療費が今年度は減少に転じたが、今後も医療費抑制のための取り組みが必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	医療レセプトや健診データを活用し、医療費分析を行い、今後取り組むべき医療費抑制のための事業を検証する。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020501010200		事業の種類	4	
年度	25	事務事業名	運営協議会事業		予算事業名	国民健康保険事業 優先度 3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	市民生活部市民課		
施策名(中)		社会保障制度の安定した運営を図る		担当課長	岩崎 徹博		担当者名 番匠 真由美
取組み事項		国民健康保険の安定的な運営を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		国民健康保険法施行令 相生市国民健康保険条例施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	年に数回協議会を開催し、国保運営に関する重要事項について審議する。					
	誰(何)を対象として	国保運営協議会					
	意図(どのような状態にしたいのか)	協議会の審議結果を受け、健全かつきめ細かな国保事業の運営を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		国民運営協議会を開催し、国保事業の運営が適正に行われているか審議する。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	開催回数	回	2	2	2	2	

3 投入資源

会計区分		国保特別会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.141	0.144	102	0.142	99	0.142	100	
	臨時職員		0.000	-	0.000	-	0.000	-	
支出内訳	人件費	1,428,579	1,419,192	99	1,408,884	99	1,464,591	104	
	事業費	162,700	226,900	139	180,746	80	484,000	268	
	合計	1,591,279	1,646,092	103	1,589,630	97	1,948,591	123	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,591,279	1,646,092	103	1,589,630	97	1,948,591	123	
合計	1,591,279	1,646,092	103	1,589,630	97	1,948,591	123		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		協議会開催にかかる1回当たりコスト							
指標説明(式)		開催に係る経費(人件費+事業費)÷開催回数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標	624,426	456,568	73.1	556,327	121.8	974,296	175.1	
	実績	795,640	823,046	103.4	794,815	96.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

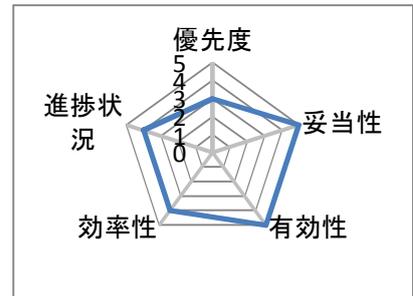
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	適切に開催している。	5
	組織運営・適正管理	適正に管理できている。	
効率性	コストの節減	委員定数が条例で定められているため、削減の余地はない。	4
	執行体制の効率性	国保事業の安定的な事業運営について適正に審議を行った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	国保事業の安定的な事業運営について審議を行ってもらうため、委員への事業説明が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	国保事業の安定的な事業運営について審議を行ってもらうため、委員への事業説明を行いながら、慎重に進める必要がある。

配点	32.5
総合評価	26.5

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号	020501010300		事業の種類	1			
年度	25	事務事業名	国民健康保険賦課事業	予算事業名	国民健康保険事業	優先度	3
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	市民生活部市民課			
施策名(中)	社会保障制度の安定した運営を図る		担当課長	岩崎 徹博	担当者名	中本 光早子	
取組み事項	国民健康保険の安定的な運営を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規	国民健康保険法 国民健康保険条例 国民健康保険税条例						
事業の目的	誰のために(具体的に)	国民健康保険被保険者					
	誰(何)を対象として	国民健康保険被保険者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	国民健康保険被保険者の資格に伴う適正な賦課をおこない、被保険者が健康な生活をおくれるように制度を維持する					

2 事業の概要 Do

実施の概要	国民健康保険税の賦課 納税通知書の送付 被保険者台帳の管理					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	国保税賦課額(現年)	円	676,014,600	669,021,500	668,424,500	679,230,000
	平均被保険者数	人	8,699	8,589	8,479	9,000
	平均被保険者世帯数	世帯	5,085	5,080	5,038	5,400
	納税通知書発送数	件	6,804	6,581	6,468	7,500

3 投入資源

会計区分		国保特別会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	2.371	2.234	94	2.090	94	1.836	88	
	臨時職員	0.063	0.063	100	0.063	100	0.063	100	
支出内訳	人件費	19,182,290	17,713,741	92	16,536,943	93	15,228,306	92	
	事業費	1,401,085	1,720,576	123	1,470,629	85	2,069,000	141	
	合計	20,583,375	19,434,317	94	18,007,572	93	17,297,306	96	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	20,583,375	19,434,317	94	18,007,572	93	17,297,306	96	
	合計	20,583,375	19,434,317	94	18,007,572	93	17,297,306	96	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	1人当り賦課額								
指標説明(式)	賦課額/被保険者数								
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	74,287	77,260	104.0	74,887	96.9	75,470	100.8	
	実績	77,712	77,893	100.2	78,833	101.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		納税通知にかかる1件当りコスト							
指標説明(式)		(人件費+事業費)/納税通知件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	3,002	2,619	87.2	2,615	99.8	2,306	88.2	
	実績	3,025	2,593	85.7	2,784	107.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	歳入の確保と医療費の抑制により、税率は据置きとした。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	関係法令等に基づいた適正な事務処理を行った。	
効率性	コストの節減	賦課にかかる1件当たりのコストは発送件数の減により増加した。	4
	執行体制の効率性	適正な事務処理体制をとっている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

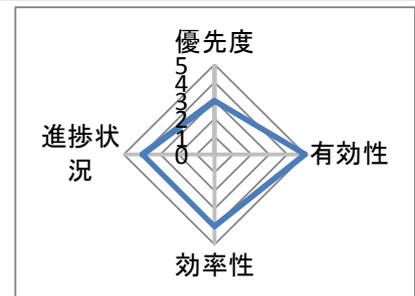
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	医療給付に見合った税率負担を考える必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	医療給付に見合った税率負担を考える必要がある。



配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020501010400		事業の種類	1	
年度	25	事務事業名	国民健康保険健康づくり事業	予算事業名	国民健康保険事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	市民生活部市民課		
施策名(中)		社会保障制度の安定した運営を図る		担当課長	岩崎 徹博	担当者名	小倉 京子
取組み事項		国民健康保険の安定的な運営を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		国民健康保険条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	国民健康保険被保険者					
	誰(何)を対象として	国民健康保険被保険者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	疾病の早期発見及び健康管理を支援することで健康の増進を図り、結果的に医療費の抑制につなげていく					

2 事業の概要 Do

実施の概要		国民健康保険被保険者に対し、健康教育・健康相談・健康診査事業(人間ドック、生活習慣病健康診査)等を実施					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	人間ドック等受診者	人	401	430	440	500	
	生活習慣病検診助成者	人	6,013	5,929	5,839	6,125	
	平均被保険者数	人	8,699	8,589	8,479	8,100	
	人間ドック等助成額	円	10,077,433	10,664,809	10,895,081	12,405,000	

3 投入資源

		会計区分	国保特別会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.476	0.486	102	0.486	100	0.501	103	
	臨時職員	0.031	0.016	52	0.016	100		0	
支出内訳	人件費	4,146,161	4,099,248	99	4,092,268	100	4,347,720	106	
	事業費	14,611,151	16,613,182	114	15,112,958	91	20,784,000	138	
	合計	18,757,312	20,712,430	110	19,205,226	93	25,131,720	131	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	18,757,312	20,712,430	110	19,205,226	93	25,131,720	131	
合計	18,757,312	20,712,430	110	19,205,226	93	25,131,720	131		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		保健事業費の保険税に占める率							
指標説明(式)		保健事業費/保険税収入額(現年分)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	1以上	1以上	-	1以上	-	1以上	-	
	実績	2.32	2.66	114.7	2.39	89.8			
指標名2		健診の受診率							
指標説明(式)		(人間ドック等受診者+生活習慣病健診助成者)/平均被保険者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	88.95	84.28	94.7	80.3	95.3	81.79	101.9	
	実績	73.73	74.04	100.4	74.05	100.0			

【効率性】

指標名1		(人間ドック等受診者+生活習慣病検診助成者)の1人当りコスト							
指標説明(式)		(人間ドック+生活習慣病検診助成費)/受診人数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1,541	1,643	106.6	1,686	102.6	1,872	111.0	
	実績	1,571	1,677	106.7	1,735	103.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	保健事業費の保険税に占める割合が1%以上の目標に対して、実績2.39%と目標を達成した。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	啓発により医療費の適正化を図った。	
効率性	コストの節減	受診者の減により、1人当りのコスト増加した。	4
	執行体制の効率性	適正な事務処理体制をとっている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

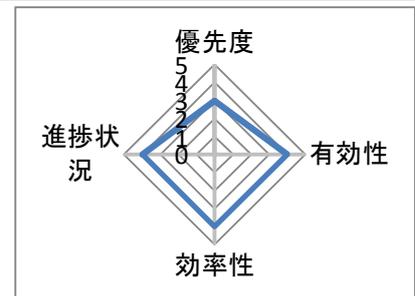
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	年々人間ドックの希望者が増加し、キャンセル待ちの状態となっている。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	希望とおり受診できるよう、医師云々調整し、券果定員を増やした。保健指導(積極的支援)を医師会に委託することにより、対象者の生活習慣病の重症化予防を図る。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020501010500	事業の種類	1
年度	25	事務事業名	国民健康保険特定健診事業	予算事業名	国民健康保険事業 優先度 3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	市民生活部市民課
施策名(中)		社会保障制度の安定した運営を図る		担当課長	岩崎 徹博
取組み事項		国民健康保険の安定的な運営を図る		担当者名	小倉 京子
実施計画事業名		特定健康診査・特定保健指導事業		実施計画への記載	無
				主要事業の指定	有
根拠法規及び関連法規		国民健康保険条例			
事業の目的	誰のために(具体的に)	国民健康保険被保険者			
	誰(何)を対象として	40歳以上の国民健康保険被保険者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	メタボリックシンドロームに対しての生活習慣病予防に重点をおいた、健診・保健指導を実施し、健康寿命の延伸や、医療費の抑制を図る			

2 事業の概要 Do

実施の概要		国民健康保険被保険者に対して行う、特定健診、特定保健指導事業を助成				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	特定健診対象国保被保険者	人	6,799	6,821	6,770	6,900
	特定健診受診者	人	2,638	2,961	2,986	3,450
	特定保健指導対象者	人	329	266	223	345
	特定健診等助成額	円	16,653,540	18,440,729	20,747,041	22,340,000

3 投入資源

		会計区分	国保特別会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.581	0.644	111	0.607	94	0.598	99	
	臨時職員	0.031	0.016	52	0.016	100	0.016	100	
支出内訳	人件費	4,975,136	5,319,640	107	5,022,395	94	5,167,159	103	
	事業費	16,653,540	18,440,729	111	20,747,041	113	22,340,000	108	
	合計	21,628,676	23,760,369	110	25,769,436	108	27,507,159	107	
財源内訳	国庫支出金	4,294,000	4,209,000	98	5,338,000	127	5,030,000	94	
	県支出金	4,294,000	4,209,000	98	5,338,000	127	5,030,000	94	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	13,040,676	15,342,369	118	15,093,436	98	17,447,159	116	
	合計	21,628,676	23,760,369	110	25,769,436	108	27,507,159	107	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		特定健診の受診率							
指標説明(式)		特定健診受診者/対象被保険者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	60	60	100.0	46	76.7	48	104.3	
	実績	39	43	110.3	44	102.3			
指標名2		特定保健指導の受診率							
指標説明(式)		特定保健指導受診者/特定保健指導対象者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	40	40	100.0	35	87.5	40	114.3	
	実績	58.7	58.6	99.8	52	88.7			

【効率性】

指標名1		特定健診受診者等の1人当たりコスト							
指標説明(式)		(人件費+事業費)/(特定健診受診者数+保健指導者数)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	7,785	6,523	83.8	7,412	113.6	7,248	97.8	
	実績	7,290	7,363	101.0	8,030	109.1			

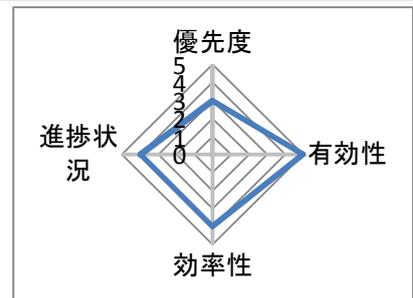
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	啓発により医療費の適正化を図った。	5
	成果目標(改善)達成度	特定健診受診率向上のため、自治会でのチラシの回覧や受診勧奨通知などを行ったが、目標は達成できなかった。	
効率性	執行体制の効率性	適正な執行体制をとっている。	4
	コストの節減	受診者が減少しているため、健診受診者1人当たりのコストは年々増加している。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	特定健診のメリットを周知し、受診率の目標達成に向けた取り組みが必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	個別健診及び特定保健指導(積極的支援)の実施医療機関を増やすとともに、未受診者へのアプローチや健診のメリットを周知することで、受診率の向上を図る。

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020501010600		事業の種類	1	
年度	25	事務事業名	国民健康保険収納事業		予算事業名	国民健康保険事業(徴収) 優先度 5	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	財務部徴収対策室		
施策名(中)		社会保障制度の安定した運営を図る		担当課長	櫻田 陽由		担当者名 萩原 大樹
取組み事項		国民健康保険の安定的な運営を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		国民健康保険法 国民健康保険条例 国民健康保険税条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	国民健康保険被保険納税者					
	誰(何)を対象として	国民健康保険被保険納税者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	納期内納付の徹底及び収納率を向上し、安定的な国保運営をする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		(1)啓発事業 口座振替加入促進 (2)収納整理事務 現年度分収入額、督促状の発付 (3)滞納整理事務 滞納繰越分収入額				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	収納率(現年)	%	93.12	93.5	94.56	95
	督促状発送件数	件	5094	5155	4748	

3 投入資源

		会計区分	国保特別会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	1.409	1.512	107	1.992	132	1.720	86	
	臨時職員	0.800	0.802	100	0.745	93	1.088	146	
支出内訳	人件費	13,317,039	13,912,830	104	17,448,379	125	16,886,885	97	
	事業費	4,081,323	405,987	10	462,640	114	3,864,000	835	
	合計	17,398,362	14,318,817	82	17,911,019	125	20,750,885	116	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	17,398,362	14,318,817	82	17,911,019	125	20,750,885	116	
	合計	17,398,362	14,318,817	82	17,911,019	125	20,750,885	116	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		徴収率(現年課税分)							
指標説明(式)		収入額/調定額							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	94	94	100.0	94	100.0	95	101.1	
	実績	93.12	93.5	100.4	94.56	101.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

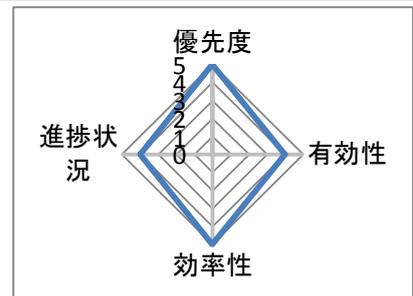
指標名1		口座振替率							
指標説明(式)		口座振替世帯数／被保険者世帯数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	60	60	100.0	60	100.0	60	100.0	
	実績	52	51.24	98.5	51.96	101.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	徴収率は前年度から大幅に向上し、目標を達成することができた。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	関係法令等に基づいた適切な事務処理を行った。	
効率性	手段の最適性	催告や滞納整理を行うことにより徴収率を維持することができた。	5
	執行体制の効率性	滞納管理システムの活用による各種帳票の見直し等により、初期滞納件数を抑制させることが出来た。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	順調に推進した。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	景気の低迷による担税能力の低下した納税者からの安定した徴収が課題である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	口座振替を推進し、初期滞納者を減少させていく必要がある。

配点	25
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020501020100		事業の種類	1		
年度	25	事務事業名	国民年金事業		予算事業名	国民年金事業		
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	市民生活部市民課			
施策名(中)		社会保障制度の安定した運営を図る		担当課長	岩崎 徹博		担当者名	細川 優太
取組み事項		年金制度の啓発と加入促進を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		国民年金法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	国民年金被保険者・受給資格者・裁定請求者						
	誰(何)を対象として	国民年金被保険者・受給資格者・裁定請求者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	国民年金被保険者等の受給資格の確保を図り、受給資格者が適正に受給することができるようにする						

2 事業の概要 Do

実施の概要		国民年金法に基づく国民年金被保険者の国民年金第1号諸届等被保険者の適用事務、裁定請求の受付・進達事務、住基調査・転出入・外国人20歳到達の調査、及び年金受給に関する相談業務を行う						
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画		
	協力・連携関係事務	件	222	200	182	200		
	適用・保険料免除・福祉・年金関係事務	件	1,891	1,849	1,875	2,000		
	給付関係事務	件	129	133	83	100		

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.374	0.767	205	0.794	104	1.002	126	
	臨時職員	0.573	0.213	37	0.206	97		0	
支出内訳	人件費	4,612,945	6,743,083	146	6,923,654	103	8,371,251	121	
	事業費	358,277	340,916	95	274,497	81	1,390,000	506	
	合計	4,971,222	7,083,999	143	7,198,151	102	9,761,251	136	
財源内訳	国庫支出金	6,038,759	5,951,321	99	5,703,558	96	6,184,000	108	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	-1,067,537	1,132,678	-106	1,494,593	132	3,577,251	239	
合計	4,971,222	7,083,999	143	7,198,151	102	9,761,251	136		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		国民年金事業							
指標説明(式)		国民年金未加入者・長期滞納者(無年金になる可能性があった者)の加入及び納付開始数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	10	10	100.0	10	100.0	250	2500.0	
	実績	10	16	160.0	215	1343.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	年金に関する市民の相談窓口として、年金事務所の出張相談会場を設けた。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	適正に行った。	
効率性	コストの節減	継続免除申請者を増やすことで、所得確認を機械化することができた。	4
	執行体制の効率性	事業実施にあたり、迅速・適正な事務処理体制をとっている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	4

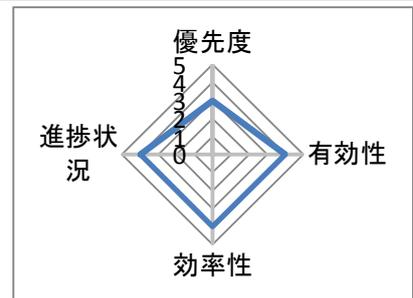
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	年金制度に対する不安を解消するため、窓口でのきめ細かな対応が必要である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	年金事務所との密な協力・連携により、きめ細かな情報を提供し、年金制度に対する市民の不安を解消する。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020502010200		事業の種類	1	
年度	25	事務事業名	生活保護安定運営対策等事業		予算事業名	生活保護安定運営対策等事業	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課		
施策名(中)		生活困窮者への的確な援護と自立を支援する		担当課長	利根 克典	担当者名	團 剛
取組み事項		生活保護世帯の自立を促進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		生活保護法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	生活に困窮する市民					
	誰(何)を対象として	生活に困窮する市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	その困窮の程度に応じ、その最低限度の生活を保障し、その自立を助長する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		生活保護法に基づき、事業実施。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	保護所帯	世帯	158	188	200	230	
	保護人数	人	207	256	256	300	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.225	0.332	148		0	0.032	-	
	臨時職員	0.460	0.280	61	0.040	14		0	
支出内訳	人件費	3,171,379	3,544,144	112	414,970	12	581,181	140	
	事業費	729,240	729,912	100	429,236	59	986,000	230	
	合計	3,900,619	4,274,056	110	844,206	20	1,567,181	186	
財源内訳	国庫支出金	729,000	2,608,000	358	472,000	18	986,000	209	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,171,619	1,666,056	53	372,206	22	581,181	156	
合計	3,900,619	4,274,056	110	844,206	20	1,567,181	186		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		生活保護安定運営対策等事業							
指標説明(式)		保護世帯数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
世帯	目標	170	180	105.9	205	113.9	230	112.2	
	実績	158	188	119.0	200	106.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

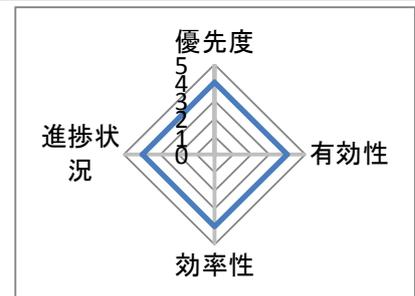
指標名1		生活保護世帯1世帯当りコスト							
指標説明(式)		事業費／生活保護世帯数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	4,582	4,433	96.7	2,093	47.2	4,286	204.8	
	実績	4,615	3,882	84.1	2,146	55.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	他法他施策の活用を図る等、自立を目的とした生活保護制度を適切に実行できた。	4
効率性	手段の最適性	8月1日の基準改定にも問題なくシステム改修で対応できた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	支援対象者個別に策定されている支援計画に基づき適切に執行されている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	就労支援以外の個別のケース対応について負担が増加しており、ケースワーカーの増員が望まれる。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	ケースワーカーの増員、事務の適正配分により効率的に事務を行う。

配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020502010300	事業の種類	1
年度	25	事務事業名	生活保護受給者就労支援事業	予算事業名	生活保護受給者就労支援事業
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課
施策名(中)		生活困窮者への的確な援護と自立を支援する		担当課長	利根 克典
取組み事項		生活保護世帯の自立を促進する		実施計画への記載	無
実施計画事業名				担当者名	團 剛
根拠法規及び関連法規		生活保護法			
事業の目的	誰のために(具体的に)	生活に困窮する市民			
	誰(何)を対象として	生活に困窮する市民			
	意図(どのような状態にしたいのか)	その困窮の程度に応じ、その最低限度の生活を保障し、その自立を助長する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		生活保護受給者で、就労可能な者に対し就労支援を行う。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	就労支援実施者	人	-	30	26	26
	就労に至った者	延人数	-	14	14	14

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円			
インプット指標	23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.026	-	0.027	104
	参事以下職員			-	0.552	-	0.480	87
	臨時職員			-	0.598	-	0.800	134
支出内訳	人件費			-	6,020,272	-	6,200,669	103
	事業費			-	816,051	-	1,192,000	146
	合計			-	6,836,323	-	7,392,669	108
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-	1,889,000	-	3,120,000	165
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源			-	4,947,323	-	4,272,669	86
合計			-	6,836,323	-	7,392,669	108	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		就労支援を実施した者で就労に至った延人数							
指標説明(式)		就労支援を実施した者で就労に至った延人数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標			-		-	14	-	
	実績			-	14	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

【効率性】

指標名1		就労支援を実施した者1人当たりコスト							
指標説明(式)		事業費÷就労に至った者							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-	-	-	85,142	-	
	実績			-	58,289	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	就労可能な生活保護受給者に就労支援を行った結果、延べ14人が就労し、2世帯が廃止に至り、一定の成果をあげている。	4
効率性	執行体制の効率性	就労支援を専門的に行う就労支援員の設置により効率的効果的に事業が実施できている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	支援対象者個別に支援計画を策定、定期的に計画の見直しを行うことで適切に事業実施されている。	4

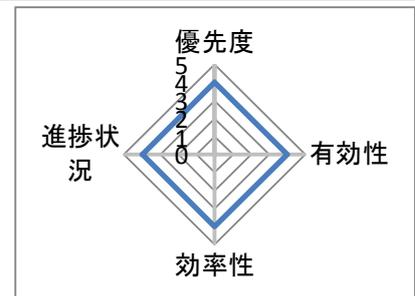
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	年齢面、健康面で就労可能な者であっても、引きこもり等の状態にあり、就労支援より一般社会への適応について支援を要する者が存在する。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	ボランティア体験型の就労訓練を実施し、一般社会への適応、自立意識をもつよう促す。



配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020502010400		事業の種類	1		
年度	25	事務事業名	住宅支援給付事業		予算事業名	住宅支援給付事業	優先度	4
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	健康福祉部社会福祉課		
施策名(中)		生活困窮者への的確な援護と自立を支援する			担当課長	利根 克典	担当者名	竹口 智哉
取組み事項		生活保護世帯の自立を促進する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		相生市住宅支援給付事業実施要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	離職者であって住宅を喪失または喪失するおそれのある者						
	誰(何)を対象として	離職者であって住宅を喪失または喪失するおそれのある者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	離職者の住宅及び就労機会の確保に向けた支援						

2 事業の概要 Do

実施の概要		離職した者で住宅を喪失または喪失するおそれのある者に対して、住宅手当(家賃)を支給する。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	支給決定件数	件			0	5	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.026	-	0.027	104	
	参事以下職員			-	0.002	-	0.040	2,000	
	臨時職員			-		-			
支出内訳	人件費			-	332,704	-	645,429	194	
	事業費			-	0	-	969,000	-	
	合計			-	332,704	-	1,614,429	485	
財源内訳	国庫支出金			-	0	-	969,000	-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源			-	332,704	-	645,429	194	
	合計			-	332,704	-	1,614,429	485	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		住宅支援給付事業							
指標説明(式)		支給決定件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標			-	0	-	5	-	
	実績			-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

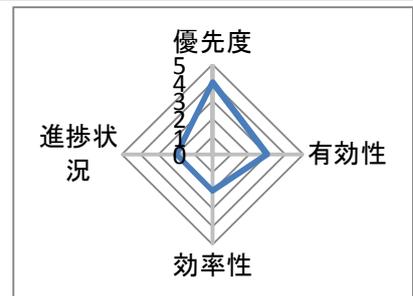
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	住宅手当緊急特別措置事業を継承した事業であるが、申請者が無しであった。	3
	関係(根拠)法令から見た効果	就労意欲はあるものの離職後に雇用保険の受給ができない者や、早期の就職が難しい者に対し、住宅及び就労機会の確保することを目的とする。	
効率性	手段の最適性	ハローワーク、社会福祉協議会等の関連機関との連携体制は整えているものの、本事業の対象者が離職者に限られる為、申請者が少ないのが現状である。	2
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	対象者が限定されるため、申請者が少ないのが現状である。	2

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	関連機関との連携を強化し、対象者になり得る者への周知を徹底する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	制度周知の方法について再検討する。

配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020502020100		事業の種類	1		
年度	25	事務事業名	行旅死亡人取扱事業		予算事業名	行旅死亡人取扱事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	健康福祉部社会福祉課		
施策名(中)		生活困窮者への的確な援護と自立を支援する			担当課長	利根 克彦	担当者名	立花 大地
取組み事項		生活保護制度の適正な運用を図る			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		行旅病人及び行旅死亡人の取扱いに関する規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	行旅病人・行旅死亡人						
	誰(何)を対象として	行旅病人・行旅死亡人						
	意図(どのような状態にしたいのか)	行旅病人の救済及び行旅死亡人の身元確認による遺族の安否解消						

2 事業の概要 Do

実施の概要		行旅病人、行旅死亡人について、身元や所持金品等の洗い出し、身元が判明次第連絡をとり、事情説明と医療費の請求を行う。判明しない場合、死亡人については官報等により全国の福祉事務所に問い合わせをする。やむをえず、見つからない場合は、無縁仏として取り扱う。								
活動実績	項目	単位	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画	
	行旅病人	人	2		2		2		2	
	行旅死亡人	人	1		0		0		2	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.028	0.000	0	0.002	-	0.004	200	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	536,444	306,936	57	332,704	108	356,313	107	
	事業費	99,695	0	0	0	-	261,000	-	
	合計	636,139	306,936	48	332,704	108	617,313	186	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	99,695		0	0	-	261,000	-	
	市債			-		-		-	
	その他	305		0		-		-	
	一般財源	536,139	306,936	57	332,704	108	356,313	107	
合計	636,139	306,936	48	332,704	108	617,313	186		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		行旅死亡人取扱事業							
指標説明(式)		行旅病人・行旅死亡人数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	2	4	200.0	2	50.0	2	100.0	
	実績	1	0	0.0	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		行旅病人・行旅死亡人1人当りコスト							
指標説明(式)		医療費・葬儀費等／対象者							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	100,000	129,500	129.5	129,500	100.0	130,500	100.8	
	実績	99,695	0	0.0	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	行路病人の速やかな帰路等の支援により事故等の防止に努めた。	4
効率性	手段の最適性	警察、消防、病院等関係機関との連携により適切な対応ができた。	4
	執行体制の効率性	担当部署で輪番による24時間待機体制により、対応について万全である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	突発的に生じる事象に対応する事業であるため、事業執行の予測が困難である。	4

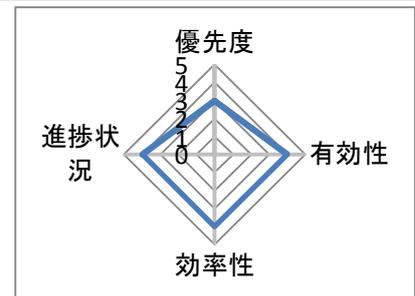
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	緊急性・優先性	休日・夜間の対応について、消防・病院等の関係機関との連携をより一層強化する。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020502020200		事業の種類	4		
年度	25	事務事業名	行路困窮者取扱事業		予算事業名	行路困窮者取扱事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	健康福祉部社会福祉課		
施策名(中)		生活困窮者への的確な援護と自立を支援する			担当課長	利根 克彦	担当者名	立花 大地
取組み事項		生活保護制度の適正な運用を図る			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		相生市行路困窮者旅費取扱要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	行路困窮者						
	誰(何)を対象として	行路困窮者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	旅費を支給することにより、行路困窮者を救済する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		行路困窮者の救済として最寄駅までの旅費等相当額を支給する					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	行路困窮者	件	192	166	129	300	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.052	0.018	35	0.028	156	0.048	171	
	臨時職員	0.000	0.000	-	0.012	-		0	
支出内訳	人件費	725,924	445,968	61	561,858	126	709,677	126	
	事業費	96,000	83,000	86	64,500	78	150,000	233	
	合計	821,924	528,968	64	626,358	118	859,677	137	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	821,924	528,968	64	626,358	118	859,677	137	
合計	821,924	528,968	64	626,358	118	859,677	137		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		行路困窮者取扱事業							
指標説明(式)		行路困窮者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	600	500	83.3	400	80.0	300	75.0	
	実績	192	166	86.5	129	77.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

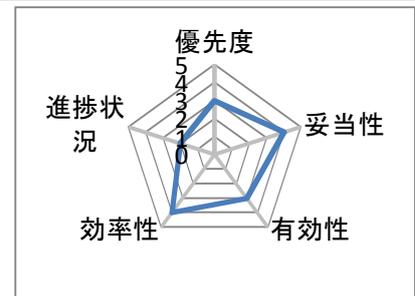
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	行路困窮者を救済する点で効果がある。	3
効率性	手段の最適性	近隣福祉事務所との均衡を考慮し、近隣駅までの交通費として500円を支給することは妥当である。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	事業の性質上、申請件数の予測が困難である。	2

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	昨年よりは少なくなったものの繰り返し旅費の申請を行う者が見られるため、申請書受理の際の審査を厳格化する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	21